

# こが



## 市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



エイッ！新しい目標に向かって（古賀市武道館）



進むか・地方分権 . . . . . 2～3

議員 12 人が政策論争

ここが聞きたい！一般質問 . . . . . 5～10

常任委員会の動き . . . . . 11～13

議長・議会の活動報告 . . . . . 14

傍聴アンケートより . . . . . 15

市民活動紹介 . . . . . 16

# 第 62 号

平成 25 年（2013 年）

2 月 8 日

発行責任 福岡県古賀市議会

# 第4回定例会の主な審議

平成24年第4回定例会(11月29日～12月13日)の議案審議の要点を報告します。

## 地方分権改革は進むか 3つの条例を制定

これまで国が一律に定めていた義務付け、枠付けを見直すことによつて、地域の自主性や自立性を高めようと、国ではさまざまな法律改正が行われています。それを受け、古賀市でも今議会に3つの条例案が提出され、いずれも全員賛成で可決しました。

### ●公園施設の設置基準を定める条例

現在、市内には158カ所の公園があり、次の3項目が改められました。①市民一人



ミニ開発による狭い寄附公園

### ●古賀市水道の布設工事監督者の資格、配置する工事及び水道技術管理者の資格を定める条例

当たりの公園敷地面積②公園の種類ごとの面積規模③公園施設の種別に応じた建ぺい率  
本会議では、公園・緑化事業は、市民にとつて防災上からも大変重要。住みたくなるまちの条件の一つとして、積極的な取り組みを期待。執行部の答弁で今後の開発は、要綱によつて公園敷地面積を150平方メートル以上に指導する  
とあった。また、市民の意見、公園の持つ多面的な機能を生かした公園整備を求めるとの賛成討論がありました。

### ●高齢者、障がい者の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準を定める条例

議員から情報提供の範囲、管理統括者や福祉部門との連携などについて質問があり、1月末にマニュアルを策定予定との執行部の答弁がありました。

本会議では、債権放棄への合理的な道筋をつくと同時に、福祉課等と連携した相談体制の整備が必要。収税の効率化だけに注目せず、市民の生活再建の視点の取り組みを

## 市税などの滞納者情報を部署間で相互利用

古賀市債権管理条例は、市税や保険料、水道料、市営住宅家賃などの滞納(市の債権)の事務処理を適正に行うために、必要な事項を定めるものです。

債権者が同時に複数の市債権を滞納している場合、市長が必要と認めれば、法令等に違反しない限り関係部所間で債務者の情報を相互利用する事ができます。また、債務者が著しい生活困窮状態にあるときなど回収の見込みがない場合は市が債権放棄ができるようになります。

議員から情報提供の範囲、管理統括者や福祉部門との連携などについて質問があり、1月末にマニュアルを策定予定との執行部の答弁がありました。

本会議では、債権放棄への合理的な道筋をつくと同時に、福祉課等と連携した相談体制の整備が必要。収税の効率化だけに注目せず、市民の生活再建の視点の取り組みを

期待するなどの賛成討論があり、賛成全員で可決しました。



電柱1本の占用料は500～1200円/年

## 福岡県市町村 災害共済基金組合を解散

同組合は昭和48年4月に設立し、福岡県全市町村で組織され、災害への積立方式による互助共済と、公営企業収益金均てん化納付基金によつて、市町村の財政運営の健全化を目的とした一部事務組合です。

国の災害に対する財政支援が、2億5千万円以上に緩和されたことから、平成25年3月末で組合を解散し、財産は構成市町村及び、福岡県自治振興組合に返還させるとの回答でした。

賛成全員で可決しました。

## 道路占用料を値下げ

近年の土地の下落に伴い、国土交通省は平成23年度に国道の道路占用料の値下げを実施。

古賀市においても、道路占用者である、九州電力株式会社、西部ガス株式会社、西日本電信電話株式会社が連名で要望書を提出したことから、近隣市との協議を踏まえ、道路占用料金の改正を行うものです。

道路占用料は平成24年度約2200万円、改正後は約1340万円となり、約870万円の減となります。

賛成多数で可決しました。



# 平成24年度一般会計補正予算は2億1790万円

障がい者サービス給付事業、感染症対策など

この補正予算歳入の財源は、国・県からの補助金や負担金と市の繰越金で、市の貯金の取り崩しはありません。

歳出としては、障がい者自立支援法改正による療養介護、生活介護支援、就労支援などの利用増。私立保育園の入所児童数が増加したことによる

運営補助費の増額。また、農林振興事業として、7月に発生した九州北部豪雨による被災農業者に対し、ハウス排水管や側溝の災害対策費の増額、電力使用量を20%以上削減できる省エネ型畜産施設整備事業の増額など。さらに感染症対策として、予防接種の3種

## 意見書

機能性低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書

本意見書は血糖値の調節異常によって発症する「機能性低血糖症」が、医師ですら認知が低いことから、的確な診断・治療法の普及に向けて調査研究を進めることと、糖尿病の診断方法のひとつである5時間のOGTTを保険適用の対象とすることなどを、各都道府県に医療機関の確保を求めるものです。採決の結果、賛成全員で可決し、政府に提出しました。

提出者 芝尾郁恵  
賛成者 西尾耕治

## 陳情

生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める陳情書(11月21日)

古賀市生活と健康を守る会  
会長 服部 泰昭  
商工会に対する市補助金のお願い(10月30日)  
福岡県商工会連合会  
会長 城戸 津紀雄

厚生労働省5局通知にもとづく職場実態の改善を求める意見書(12月11日)  
福岡医療労働組合連合会  
執行委員長 吉岡 裕二

国民医療と国立病院の充実改善を求める陳情書(12月11日)  
全日本国立医療労働組合  
福岡地区協議会  
議長 原 正勝



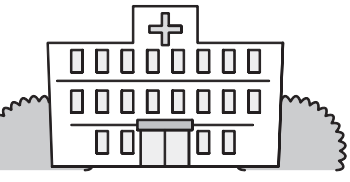
浸水の被害からハウスを守る施設工事

## 一人当たりの医療費が増加 国民健康保険特別会計は 2億9700万円の増額補正

一般被保険者、退職被保険者ともに、一人当たりの医療費が増加したことにより、療養給付費、高額療養費が増額となっています。議員から医薬品の割合と、後発医薬品(ジェネリック薬品)の利用実績について質問があり、医薬品の割合は35%。うち、ジェネリック薬品の割合は12~14%。国の目標は30%との回答でした。

今後の超高齢社会に向け、健康と医療費に対する意識向上が求められます。賛成全員で可決しました。

議員から医薬品の割合と、後発医薬品(ジェネリック薬品)



※特許権が消滅し、同じ有効成分を含んでいる医薬品

# 平成24年第4回定例会 議案の議員別賛否一覽

会期：平成24年11月29日～12月13日

号 数	議案名	結 果	賛 成	反 対	倉 掛 小 竹	許 山 秀 仁	前 野 早 月	清 原 哲 史	阿 部 友 子	松 島 岩 太	田 中 英 輔	内 場 恭 子	芝 尾 郁 恵	結 城 弘 明	三 好 貴 一	姉 川 さ つき	仲 道 誠 明	高 原 伸 二	吉 住 長 敏	飯 尾 助 広	船 越 義 彰	西 尾 耕 治	
58	専決処分（平成24年度古賀市一般会計補正予算）	承認	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	古賀市債権管理条例制定	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	古賀市都市公園法に基づく都市公園及び公園施設の設置基準条例制定	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	古賀市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準条例制定	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	古賀市水道の布設工事監督者の資格等に関する条例制定	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	古賀市分担金等の督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	古賀市道路占用料徴収条例の一部改正	可決	17：1		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	古賀市都市公園条例の一部改正	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	古賀市水道事業給水条例の一部改正	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	古賀市農業集落排水減債基金条例の廃止	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	平成24年度古賀市一般会計補正予算	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成24年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	平成24年度古賀市介護保険特別会計補正予算	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	平成24年度古賀市水道事業会計補正予算	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72 ～ 74	福岡県市町村災害共済基金組合の規約変更、解散、財産処分	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75 ～ 76	市道路線の認定・変更	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	機能的低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書の提出（議員提出議案）	可決	18：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

## インターネット議会中継・録画配信中

26	22	21	19	18	15	14	12	11	8	7	6	5	4	3/1	2/28	日
火	金	木	火	月	金	木	火	月	金	木	水	火	月	金	木	曜
〃	〃	〃	〃	9時30分	〃	13時30分	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	9時30分	開議時刻
本会議	一般質問・ 議会報編集特別委員会	一般質問	一般質問	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	補正予算特別委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	本会議	議会運営委員会	本会議	会議名

## 平成25年古賀市議会 第1回定例会会期日程（案）

会期 2月28日～3月26日 27日間

注) 会期日程は、2月25日（月）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。  
 ◎本会議でもすべての質疑・討論の記録は「議会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。  
 会議録は、議会事務局で販売閲覧、市立図書館で閲覧できます。  
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。（本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です）  
 ◎請願書の締切りは2月21日（木）午後5時です。

# 一般 質問 聞きたい!

## 平成25年度への展望と市政の評価と課題は (答) 選挙公約の約8割は着手、評価は市民に



内場 恭子

**問** 次年度で重点は、竹下市政の評価と課題は。  
**市長** 力を入れて取り組むのは、第4次総合振興計画前期基本計画の重点プロジェクト推進施策。具体策は、現在予算編成作業中。市政方針や予算案で示す。公約の8割は着手。課題は任期中に結果を出せるかにある。平成24年は挑戦の年だ。多様な市民ニーズに対応していく。総花的になることもある。

市町名	通院	入院
古賀市	小学入学前まで	18歳まで
福津市	小学3年まで	小学6年まで
宗像市	小学6年まで	小学6年まで

18歳まで通院費無料を自治体によって、一部自己負担あり

**市長** やるべきことはやった。次年度は具体的な結果を出せるよう対応していきたい。  
**問** 市長の「誠心誠意力を尽くす」を実行してほしい。  
**18歳までの通院費無料化を**  
**問** 公約の小学校卒業まで子ども医療費無料化の実施と他市町との格差は。これで古賀市は人口増や企業誘致を図ることができるとか。  
**市長** 子ども医療費は、平成24年4月から18歳まで入院費支給を拡大。6カ月間の費用は約750万円。通院費無料は、財源があれば実施したいが、財政負担を考慮、検討し

# 一般 質問

たい。  
**問** 実現が遅れるほど採点は厳しくなる。尽力してほしい。  
**子ども・子育て新システムは問題**  
**問** 保育所待機児童ゼロを堅持すべき。新システムをどう考えるか。  
**市長** 次年度も待機児童を発

## 特定用途制限地域の住民説明は十分か (答) 地元との協議を行い慎重に対処する



飯尾 助広 (自由)

**問** 都市計画区域外の住環境の悪化をどうとらえているか。  
**市長** 生活道路や通学路の危険性や騒音問題が起きている。  
**問** どのような改善対策をしているか。  
**市長** 補修や改良をしているが十分な取り組みがなされていないのが現実だ。  
**問** 指定によるデメリットは。

生させない。新システムは、平成27年4月の実施を国は予定。主体は市で、事務量増が想定されるが、詳細は不明。国の動向を注視、組織体制を整えていきたい。  
**問** 安心して子どもを預けられる場所や環境がほしい。



工場や倉庫の建設が不可能に

**市長** 建築物に制限がかかることになり開発が制限される。  
**問** 環境問題は産廃置き場の規制とか、山林開発の規制とか多方面からの規制と併せて考えるべきだと思うが。  
**副市長** 今回の指定は建築物だけでなく他の規制とは今後連携を考えたい。  
**問** 今後の環境も大事だが現在の環境改善が先ではないか。また現在の開発行為は地元の開発委員会や、県の規制が厳しく、環境悪化にはつながるとはいえない。むしろ、建築物だけの制限は土地利用の制

限となり、資材置き場や、産廃置き場、耕作放棄地などが大である。開発を犠牲にしてまで制限をかける必要があるのか。地元や地権者との話し合いは十分に行われてきたのか。  
**市長** 指定に伴う条例の説明会やパブリックコメントを実施してきた。  
**問** 今回の指定の内容を理解しているという人は少ない。また説明会があったことすら知らない人が多いと思う。条例化だけを急ぐのではなく、住民にとって本当に何がいいのか、行政区単位で周知徹底して話し合うべきではないか。  
**市長** 今回の指定については今後、地元の意見を尊重し慎重に対処したい。

◇一般質問は届け出順で掲載しています。



一般質問

市民に不利益な地域を指定する年月日は  
(答) 現時点では未定



高原 伸二  
(政風会)

問 準都市計画区域に土地の所有者(市民)に不利益になる特定用途制限地域を指定する目的は。

市長 土地利用に対する一定のルール作りのために建築物の制限をかけることとした。

問 指定することの効果は。

市長 地域住民の合意形成を図ることができたと考え、倉庫等の建築を規制することで住環境の悪化等に一定の効果が見られる。

問 特定用途制限地域をかければ、農地にも建物が建てられるか。

都市計画課長 宅地化できるような状況になったら建物を建てる作業になる。

農林振興課長 基本的に農地

に建物は建てられない。農地法に基づく判断による。

問 農地に建物を建てる時には農地法の許可が必要だが、合計8回の地元説明会のときにそのルールを説明したか。

都市計画課長 農地については農地法・農振法の適用があると説明した。

問 第1種農地であっても建築が認められるスポーツ施設を特定用途制限地域で建てられないよう規制をしているが。

都市計画課長 農地法上は建てられるが、特定用途制限地



特定用途制限地域を示す図

域に指定されれば建てられない。問 都市計画課と隣にある農林振興課で言っていることが違うが、市民は誰を信用するのか。縦割り行政では駄目だと再三申し上げた。この行政

のやり方を変えていかなくてはならない。課題解決のための調整をどう考えているか。市長 市民のご意見をしっかりと承り、慎重に検討していきたいと考える。

指定管理者の協定内容、評価は適切か  
(答) 将来にわたって、改善すべき点は改善したい



倉掛 小竹  
(山海会)

り運用している。

問 事業者から提出されている報告書の報告内容・項目が、協定書に義務付けられているものと違っているのはなぜか。

総務部長 実績に基づき内容が変わる。指摘された点については貴重な意見としたい。

緑のリサイクルを全市的な取り組みに

問 剪定枝葉回収が古賀市議会で提案され、はや12年以上がたつ。地域ごとの剪定枝回収に残念ながら手を挙げる地域はなかったが、対策は。

市長 意識高揚に努め、区長会や広報等で広めていく予定。

問 理解はすれども、自主的



枝葉をその場でチップ化「グリーンザウルス」

な動きはなしという反応に対し、小郡市では年1回ごみ減量・リサイクル推進に特化した自治会長との協議の場がある。また、「共業資源管理センター」が開発した回収と同時にチップ化できるパッカー車を6回40カ所のステーションを回る。200トンのチップはその場で無料配布されるので市民の意識高揚につながる。導入を検討しては。市民部長 小郡市の事業は知っている。研究会での提案をまつ。

問 検討は即すべき。学校の刈草の処分についても燃やさず、堆肥化に切り替えて。

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

一般質問

市営住宅などの耐震化はどう進めるか  
 (答) 長寿命化計画の作成と併せ対応したい



田中英輔 (山海会)

総務部長 公共施設の特定建築物は24棟あり、耐震診断を実施し、必要な建築物の耐震化を進めたい。

市営住宅は平成25年度に予定する長寿命化計画の作成と併せ対応したい。

福岡県内の戸建て木造住宅では、耐震性能の劣る住宅が41%という実態があり、宗像市や福津市では耐震診断・改修補助が実施されている。

問 東日本大震災から2年、第4次総合振興計画では「防災体制の充実」を前期5年の重点としている。新年度の「安全で安心して暮らせるまちづくり」の重点は何か。

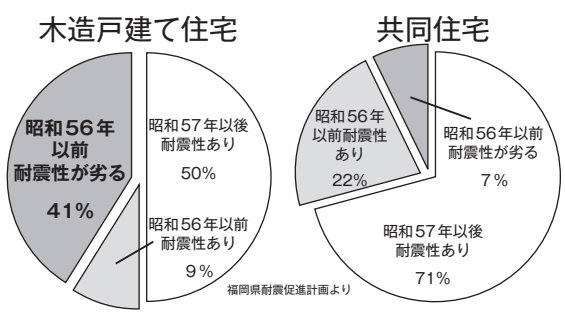
市長 地域の防災力向上と考えている。

問 都市としての地震への備えはどう進められているか。

市長 古賀市地域防災計画に基づいて進めており、今年度は、見直し後の数値で備蓄等を再検討している。

問 防災対策として耐震改修促進計画の策定を急ぐべきではないか。

市営住宅など、特定建築物があるが、これらの耐震化はどのように対応する考えか。



昭和56年を基準とした耐震化状況

このような制度も参考に、木造住宅の耐震化対策も必要ではないか。

建設産業部長 研究したい。

問 東日本大震災では、自治体の事業復旧・継続が困難を極めた。事業継続計画を検討すべきでは。

総務部長 事業継続計画は策定していない、今後積極的に検討したい。

問 自主防災組織の結成が進んできた、活動促進の支援制度が必要ではないか。

総務部長 調査し検討を進めたい。

西鉄宮地岳線跡地の今後の活用計画は  
 (答) 今後5年で全事業を完成させる



許山 秀仁 (自由)

問 今後の宮地岳線跡地の活用計画はどうか。

総務部長 年内に開発公社で買収したいと思っている。

建設産業部長 跡地利用の素案ができた状況である。早急にやるべき箇所は早く予算を

設置し補助検討しながらやっていく。5年の中で全事業を完成させる目的でいく。

問 住民参加の宮地岳線跡地

計画検討委員会の設置は。都市計画課長 跡地をゾーンごとにどのような利用形態にするかを決めた後に、個別に各地域に入って、合意形成なり計画案の提示をしていく。

花鶴浜公園一帯の松林の管理について

問 保安林の松林の状況と松くい虫の被害状況は。

建設産業部長 ボランティアの活動もあり、松林は他市町に比べ、管理状況は大変良いと思っている。毎年松くい虫の防除のほかには秋には伐採処理をしている。

問 保安林の民有地の割合は。

問 保安林の民有地の割合は。



松林の環境保全と防災管理

農林振興課長 ほとんどが民有地で民有林となっている。

問 保安林の管理は。

農林振興課長 民有林については個人の管理になるが防風保安林ということで松くい虫防除等については行政機関がするものとしている。

問 保安林の防災対策は。

建設産業部長 松林については当然火気厳禁。松林付近においても火気厳禁という状況は啓発しながらやっていくことが大事だと思っている。

問 道路に散乱した保安林の松葉や公園の落ち葉の処理は。

建設産業部長 常に道路パトロールをしており、松枝とかがあれば排除するようにしている。

◇一般質問は届け出順で掲載しています。



一般質問

成年後見制度の取り組みは十分か  
 (答) 介護保険事業計画に基づき充実を図る



阿部 友子  
 (明友会)

はないかと考える。

問 近い将来予想される後見爆発に備え、市民後見推進事業がスタートしている。いわゆる「成年後見の社会化」である。古賀市の取り組み状況は、

保健福祉部長 市民後見人制度については介護保険事業計画に掲げている。市民後見人の育成には相当の時間、習得が必要であり、育成後の活動フォローも要る。まず制度の周知をしっかりと行う。研修に

問 成年後見制度は、認知症など判断能力が不十分な方々が、財産管理や日常生活での契約等を行うときに、不利益を被ったり、悪徳商法で被害に遭うことがないように、権利と財産を守り、人としての尊厳ある生き方を支援する制度。職員の理解、市民への周知、啓発は十分か。

保健福祉部長 成年後見制度の利用を考えてみませんかというパンフレットを配布している。

問 古賀市ではどれくらいニーズがあるか把握されているか。

保健福祉部長 認知症の高齢者数が10月末現在で987人、この程度のニーズがあるので



周知、啓発用のパンフレット

校区コミュニティ事務局長の専従体制は  
 (答) 手法は住民自治基本条例研究の中で検討



仲道 誠明  
 (明友会)

についてはある程度の規模で実施した方がいいと考える。

問 市民後見人は養成しただけで終わりではなく、活用のために養成後の登録・支援・監督まで行う組織的なバックアップ体制の整備が必要。組織づくりについての考えを。

保健福祉部長 福祉、あるいは法律の専門職も含めながら、チームでいかに対応するか十分検討する。

防災計画における女性の参画状況は

市長 比率は21・7%。今後、充実していく。

問 校区コミュニティに移管すると言われてきた25事業は、補助金見直し対象の89事業に含まれるのか。

総務部長 9事業が含まれる。コミュニティ統合型は平成25年度で整理し、平成26年度実施する。地域の合意がとれたものから要望に沿う形で移す。

問 自治会活動の課題は。

市長 役員確保が困難なこ

とや未加入者への対応など。

問 リーダー養成塾卒業生の活動は把握しているのか。

総務部長 調査する。

問 住民自治基本条例の制定について。

総務部長 住民自治基本条例と自治基本条例併せて研究検討したい。

問 校区コミュニティは市民へ十分浸透していないのでは。

総務部長 歴史が浅いこともある。地域で広報、回覧などでアピールしている。

問 校区コミュニティが抱える問題や課題について。

市長 役員や財源確保の問題

校区コミュニティ	コミュニティセンターの設置場所
東校区	久保公民館
花鶴校区	東区公民館
小野校区	小野小・旧用務員棟
千鳥校区	千鳥南公民館
西校区	西小・旧用務員棟
舞の里校区	集会所
花見校区	花見小・旧用務員棟
青柳校区	未設置

校区コミュニティ活動拠点一覧

があるようだ。

問 地域の要望は校区コミュニティで整理して、市に上げる仕組みに変えてはどうか。

総務部長 モデル校区を設定して周囲の理解を深める手法もある。検討課題のひとつ。

問 校区コミュニティ事務局センターの実情は。

地域コミュニティ室長 小学校用務員棟や行政区の公民館を利用してはいる。

問 センターの充実について。

副市長 事務局体制の充実等が問題となる。現在、動き始めたばかり、今後検討する。

問 事務局長の専従について。

総務部長 専従体制については自治・住民自治基本条例の研究の中で検討したい。



一般質問

小野地区の狭隘道路や通学路は危険、改善を  
(答) 地方道や環境は劣悪と認識対策考えたい



結城 弘明 (政風会)

問 中央道笹子トンネル事故は老朽化や安全管理のなごりの人災だ、古賀市道路河川、橋梁のインフラ整備は万全か。  
市長 都市計画内幹線道路は街路の見直し中、区域外幹線は東西線整備を推進中、橋梁は長寿命化修繕を計画し、緊急度高いものから改善中。  
問 谷山・小山田間の狭隘道路は通学路があり、24時間稼働の運送会社大型トラックと供用の運行は死亡事故の発生など危険かつ振動騒音等公害対策上問題で改善すべきだ。  
建設産業部長 この狭隘道路は一部企業には通行時間帯の制限をお願いし了解済み。  
当道路は道路改良や新規道路設置に用地を地権者にお願



危険な生活道路 (谷山公民館前)

いするなど今後対策を考える。環境は騒音など総合的に取り組み、大型車などは警察と協議の必要があり実施したい。  
市長 安全な通学路は糟屋署・教育委員会・学校と検討し21カ所を改善する。  
問 河川の井堰は昭和28年製がほとんどで老朽化著しい。水門管理を自動化すべきだ。  
市長 市内200カ所の井堰の老朽危険を勘案し毎年度予

子どもの命を守るため通学路の整備を  
(答) ハード面だけでなく、ソフト面の改善も進める



清原 哲史 (希来里)

問 29カ所の危険箇所が挙げられ、21カ所の改善が図られたとの事だが、残る8カ所の改善計画は。  
建設産業部長 交通量が多く構造的にもかなり厳しい所もあり、調査・研究中だ。  
問 ハード面による改善が主だが、ドライバの視認性を高め、注意喚起を促すため、カラー舗装によるゾーン分け

算計上、順次自動転倒式などに整備改良を実施する。  
医療費削減のために健康とスポーツの融合に傾注努力と保健師や栄養士などの拡充を  
保健福祉部長 5カ年計画で市民健康づくり推進員、スポーツ科学部の専門の先生の

問 通学路に、子どもの絵が描かれた看板があれば、さらに視認性が高まると思うが設置する考えはどうか。  
建設産業部長 いい提案だと思ふ。研究させていたたく。  
問 宮地岳線跡地は、8つのゾーンに分けて、今後5年間にかけ整備することであるが、簡単な工事をすれば、最も安全な通学路として活用で

指導で医療費抑制を推進する。  
問 ソフトボールグラウンドや室内施設が不足貧粗だ。  
教育長 中学も開放、教育委員会は大型スポーツ施設新設は拒否せず志向高まりを踏まえ研究課題としたい。  
をすべきと思うかがが。建設産業部長 カラー舗装の中にグリーンベルトという方法があり、現在取り組んでいる。車道との色分けは大事だと思ふ。  
建設産業部長 全体計画ではなく、緊急措置として臨機応変な対応ができないのか。  
市長 鹿部区から西小にかけて橋梁部分を利用しての通学路は極力早い段階で整備する。  
問 西濃跡には、住宅120戸が、建設予定と聞いている。ゴルフ場入口から新宮境についても、ゴルフ場は、無償提供する用意があるのと鹿部区・日吉台区の子どもたちの安全性は一段と高まっているので、スピード感をもって進めてもらいたい。



通学路の整備は急務

◇一般質問は届け出順で掲載しています。

一般質問

**公益性発揮と保全で森林の公有化へ決断を**  
**(答) 強い問題意識をもっている**



吉住 長敏  
 (希来里)

**問** 森林整備計画で水源涵養以外の保健、文化等の機能の記載が不十分。変更が必要だ。

**建設産業部長** 今後、計画性を持つ場合には付け加える。

**問** 森林法の第10条6項で変更が可能。補助事業の面でも見直すべき。市民への森林整備計画の公表も大切だ。

**建設産業部長** 必要に応じ改定していく。計画書が閲覧できたことはお喜びする。

**問** 市の山林所有者は1ヘクタール以下が8割。大半は小野校区。山を公有化する事も考えるべきだ。山の相場は1平方メートル100円。宮地岳線跡地は約5600円。仮に薦野、米多比の山林全部を買い取る場合、粗計算で4億

4700万円。薦野生産森林組合所有の森林では1億1400万円。災害共済組合基金積立の返還金が8700万円

で釣りがくる。ふるさと・水と保全基金の現在高も6300万円。市は公益な面を考え、森林を購入すべき段階に入るべき。

**市長** 森林組合の合併の今後の行方を見守りたい。

**問** 来年度の地籍調査では境界立会等も省かれる。「山を鏝海を煮る」という言葉がある。負の財産と言われる今の山を、

無策のまま将来に引き継ぐのは問題だ。宝の森林を自主自立で、現状を診断しあるべき方向を見出す意気込みと決断があつてしかるべきだ。

**市長** 強い問題意識を持つている。状況も変化しており、

**市政中間点・マニフェストの検証と説明を**  
**(答) 時期を見て、機会を設けたい**

**市政中間点・マニフェストの検証と説明を**  
**(答) 時期を見て、機会を設けたい**



前野 早月  
 (希来里)

**問** マニフェストについての基本認識は。

**市長** 選挙公約の一形態で、具体的な内容を有権者に示すことができる手法の一つ。

**問** 必要性を否定する向きもあるが、目標を示したからこそ、点検評価できるのでは。

**市長** 改善すべきは改善し、反省すべきは反省し、より改善していくべきと認識。

**問** 竹下市政2年間の総括と

議員のご意見として承る。

**問** 西鉄の宮地岳線は企業西日本鉄道から購入することになっている。森林は個人が持っている方がほとんどだ。民の意見も聞き、ぜひとも公有化を前向きに検討されたい。

**市長** 強い問題意識を持つている。状況も変化しており、

**問** 西鉄の宮地岳線は企業西日本鉄道から購入することになっている。森林は個人が持っている方がほとんどだ。民の意見も聞き、ぜひとも公有化を前向きに検討されたい。

**市長** 強い問題意識を持つている。状況も変化しており、

**問** 西鉄の宮地岳線は企業西日本鉄道から購入することになっている。森林は個人が持っている方がほとんどだ。民の意見も聞き、ぜひとも公有化を前向きに検討されたい。

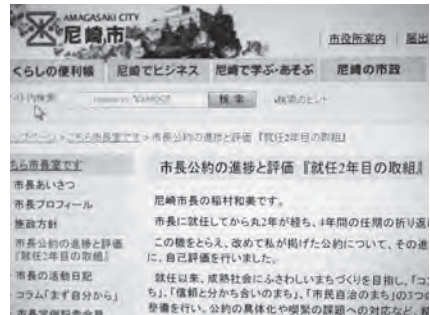
**市長** 強い問題意識を持つている。状況も変化しており、

**問** 西鉄の宮地岳線は企業西日本鉄道から購入することになっている。森林は個人が持っている方がほとんどだ。民の意見も聞き、ぜひとも公有化を前向きに検討されたい。

**市長** 強い問題意識を持つている。状況も変化しており、

**問** 西鉄の宮地岳線は企業西日本鉄道から購入することになっている。森林は個人が持っている方がほとんどだ。民の意見も聞き、ぜひとも公有化を前向きに検討されたい。

**市長** 強い問題意識を持つている。状況も変化しており、



公約の進ちょくを HP で公開

ちづくりを進める姿勢が求められると思うが。

**市長** 市民に、より分かりやすく伝えていく必要がある。

**問** 中間点の今、マニフェストの検証と説明をすべき。

**市長** 時期を見て、機会を設けていきたい。

**市としてのごみ減量化・清掃工場の将来構想は**

**問** 将来構想としては、現工場の延命、ごみの資源化を進め規模縮小で建て替える、広域処理で福岡市へ委託の3パターン。それぞれの担当部署は。

**市長** 広域処理は経営企画課が窓口。清掃工場、環境課との情報共有に努力している。

**問** 政策の優先度を説明し、市民の理解と納得を得て、ま

**市長** 強い問題意識を持つている。状況も変化しており、

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。



# 先進地に学び、市政に活かす

## 総務委員会

平成 24 年 11 月 5 ～ 6 日  
住民主体の自主防災活動の取り組み  
岡山県瀬戸内市

活断層は少なく直下型地震の想定はしていないものの、昭和 20 年に市内を流れる吉井川が豪雨により氾濫し、大きな災害を受けた経験から、最大震度 6 強の南海トラフも想定しての地域防災計画と、災害時要援護者避難支援プランは作成をしています。住民に動いてもらうためには、講演会を行うだけでは広がり、自主防災組織の取り組みに女性や子どもに参加してもらい、多様な意見を出し合い問題意識を共有することが重要。災害時の行政は、後方支援に徹する考えということでした。古賀市の自主防災組織の広がりやに役立たいと思います。

## 自分たちの地域は自分たちで守る 山口県防府市

平成 21 年 7 月に起きた土砂災害では、死者 14 人がでる大災害が起きたことから実践的な取り組みをされていました。自主防災組織は自治会の半数以上で設立、ケーブルテレビで市が発表する避難勧告、指示を始め、FM ラジオ、屋外スピーカー、戸別受信機、エリアメールなど緊急情報の発信。市内 26 カ所に防災倉庫の設置、捨てられない工夫がされた防災ファイルの全戸配付など、行政と住民が協力をし、安心して暮らせるまちづくりが進められていました。古賀市でもすぐに役立つ大変有意義なお話が聞けました。



防府市役所

## 市民建産委員会

平成 24 年 10 月 29 日～ 30 日  
一般廃棄物の資源化の推進  
東京都町田市

市では徹底したごみ減量化、資源化を目指しています。2020 年までの基本計画では家庭生ごみの 100%資源化、ごみ処理量の 40%削減を目標としており、大型の生ごみ処理機の開発やバイオガス化施設など次世代型のリサイクル施設も計画されています。また市民から立ち上がった「ごみゼロ市民会議」では、～もったいない精神で「ごみゼロまちだ」をつくろう～をスローガンに、市民と行政が一緒になってごみ問題解決への取り組みが推進されています。古賀市でも市民と行政が一体となって、まずは協議の場を持つことが急がれると思われました。



町田市役所

### 常任委員会視察報告

## 南部地域の開発許可基準の緩和について

### 千葉県佐倉市

市の南部地域は調整区域の指定のもとに開発がなされず過疎化が進んでいます。地元の強い要望もあり市は県、国との粘り強い交渉の結果、一定の制限はあるものの調整区域の開発の道が開けました。区域の指定、敷地面積、道路整備など一定の条件のもと南部地区開発条例が制定され、現在農業入植者など 10 戸の建設が実現したそうです。古賀市でも、編入や特定用途制限地域の指定をする場合は、地元住民の意見を十分に聞く必要があると感じました。

## 総務委員会

◎内場恭子 許山秀仁  
 ○田中英輔 高原伸二  
 吉住長敏 西尾耕治  
 (10月26日)

### 平成25年度予算編成説明会開催

平成25年度経営方針は、マスタープランの前期基本計画を達成するための計画的な事業展開や事業立案の要求で、①経常経費に配分している枠内経費を、対前年比ゼロシーリングで配分型予算編成を行う②歳出面の視点③歳入面の視点④事務事業評価を活用する予算要求

答 市の3役と部長で、部の重点施策などの確認とヒアリングを行い、具体的な部分を進める。  
**補助金改革実行計画のバリックコメント実施**

花鶴校区で地域住民防災訓練  
 問 東区については大雨時に橋を渡つての避難は危険。市役所を避難場所にしては。

西鉄バス赤字補助について  
 問 補助額は。  
 答 運行経費から運賃収入を引いた3384万円。  
 問 利用者が前年比約3000人増だが、運賃収入が減の理由は。

象職員は。  
 答 一般職の正規職員・短時間勤務職員。

3人から、13件の意見があり、そのうち3件の意見を反映したと報告がありました。  
 問 コミュニティ統合型とは。  
 答 コミュニティ統合型補助金は、関係制度と組織の整理の進捗に合わせて段階的に整備していく。

問 近距離の利用者が増えたためではないか。  
 問 運行管理費の算出方法は。  
 答 管理費の内訳はもらっていない。

古賀市人事評価実施規程」制定  
 問 人事評価の対応

ら選考委員会において選考を開始すること。  
 問 選考委員会の人数、メンバー構成は。  
 答 大学教授、子育て支援団体、県の第3者評価委員、公認会計士もしくは税理士、各保育所から保護者代表の計6人。



地域住民防災訓練の様子 (花鶴小学校区)

# 委員会 究レポート

◎は委員長、○は副委員長

## 文教厚生 委員会

◎芝尾郁恵 倉掛小竹  
 ○清原哲史 阿部友子  
 松島岩太 姉川さつき  
 (10月29日・31日)

### 「ヘルスアップぷららん」

#### 後期アクションプランを

#### 「地域骨太プロジェクト」に

平成18年度に策定された「ヘルスアップぷららん」の、中間見直しで「健康意識」「栄養・食生活」「身

体活動・運動」の重点的な取り組みがあげられたことで、骨に着目し、すべての年代の健康への関心を高める目的でタイトルを「地域骨太プロジェクト」としたと報告がありました。

「障がい者虐待防止センター」を設置  
 久保保育所に4法人、恵保育所に2法人の申し込みがあり、12月ごろか

久保保育所に4法人、恵保育所に2法人の申し込みがあり、12月ごろか



# 任 査・研 常 調

**こども発達ルームの支援体制は大丈夫か**

問 発達支援の分野は今後ますます重要になる。このままの体制でよいのか。

答 嘱託、臨時職員は、1年とか半年の任期で不安定な雇用になっている。ぜひ見直したい。

**注目の研修棟及び周辺施設整備事業**

平成25年に設計業者と契約。提案書の審査から結果発表までは、委員会を設置して審査を行います。基本計画・実施計画を、平成25年度中に作成し、平成26～27年にかけて工事を行う予定です。

**利用しやすい図書館をめざして**

JR古賀駅に設置されたブックボックスでは、9月、10月で1022冊、そのうち督促分29冊が回収されたと報告がありました。

問 図書館内に男性も利用できるオムツ交換台の設置を。

答 検討する。  
**「スタンドアロン」支援事業」好評**

夏休みに、経済的理由により、塾などに通えない市内中学生69人が参加しました。

問 参加者数と、第2次の応募者数は。  
答 生活保護家庭4人、要保護家庭10人、第2次



園庭増設中の恵保育所

応募者数32人。

## 市民建産 委員会

◎飯尾助広 前野早月  
◎船越義彰 結城弘明  
三好貢一 仲道誠明  
(10月23日・11月2日)

### 環境基本計画策定の ワークショップ開催予定

#### ワークショップ開催予定

環境基本計画の策定について、自然環境調査、市民事業者アンケート、温室効果ガス排出量調査を実施、9月に市民事業者アンケートを送付し、集計取りまとめをし、平成25年1月から市民ワークショップを実施する予定と報告がありました。

また、古賀市環境市民会議は「ぐりんぐりん古賀」という愛称で、環境体験講座を実施中です。

**農業集落排水事業の進捗状況は**  
問 谷山、町川原地区の供用開始及び区域外の接続は、どうなっているか。

答 10月1日より供用開

**無料職業紹介所、観光協会の状況について**

無料職業紹介所では、求職者数315人のうち採用決定者232人の実績を挙げることができた

と報告がありました。観光案内所の9月まで

**耕作放棄地の現状は**

耕作放棄地は、田畑合わせて平成24年度は、21万3888平方メートル、年々大幅に増加。農地の違反転用も平成24年度33件、3万4069平方メートルと急増していると報告がありました。

問 耕作放棄地改良工事過程で出てきた産業廃棄

答 今回から調査対象に畑を加えたため。

**宮地岳線跡地のアンケート調査について**  
10月1日から1500人を無作為に抽出して実施したと報告がありました。

問 古賀の逸品

始、区域外の接続については施設の容量などを勘案しながら認めている。  
**工事契約変更について**  
問 入札発注工事で入札後に金額の変更が多く見られるが。

答 工事の段階で埋蔵物が出てきたり、工法の変更によるもの。

**無料職業紹介所、観光協会の状況について**

無料職業紹介所では、求職者数315人のうち採用決定者232人の実績を挙げることができた

と報告がありました。観光案内所の9月まで

の売り上げは162万円、月平均27万円、来客数1日平均39人。

問 観光協会の事務局体制の強化は。  
答 財政的な裏付けが必要。予算を検討している。

**耕作放棄地の現状は**

耕作放棄地は、田畑合わせて平成24年度は、21万3888平方メートル、年々大幅に増加。農地の違反転用も平成24年度33件、3万4069平方メートルと急増していると報告がありました。

問 耕作放棄地改良工事過程で出てきた産業廃棄

物はどういうものか。  
答 プラスチック、ブロック、トタン板など。

問 耕作放棄地が急増している原因は。  
答 今回から調査対象に畑を加えたため。

**宮地岳線跡地のアンケート調査について**  
10月1日から1500人を無作為に抽出して実施したと報告がありました。

問 古賀の逸品

販売委託事業の今後の見通しは。  
答 JR古賀駅前を起点として情報発信などやっていきたい。



雇用対策基金事業による古賀の逸品販売店「co-gae. noire コガノヤ」

議長報告

健康づくり、防災で視察研修  
岩手県西和賀町、熊本市などを訪問

議長・奴間 健司

2012年11月1日～2日、糟屋地区議長協議会（1市7町）で、岩手県西和賀町を訪問しました。

西和賀町は、2005年に旧湯田町と旧沢内村が合併して誕生。旧沢内村は「豪雪・貧困・多病」の三悪を克服するため、1957年に村長に就任した深澤晟雄村長が「私は住民の生命を守るために命を賭けよう」と「生命尊重」の政治を推進。1960年に



ふかさわまさお  
深澤晟雄記念館を訪問した粕屋地区議長会

一部事務組合議会の報告

古賀市が参加する一部事務組合の議会が開催され、平成23年度決算が認定されました。いずれも古賀市議会議長が議長を務めています。

- ①古賀高校組合議会  
(10月29日、決算額6億932万円、古賀市分担金1175万2千円)
- ②北筑昇華苑組合議会  
(11月5日、決算額2億3500万円、古賀市分担金193万円)
- ③玄界環境組合議会  
今回から決算議会でも一般質問を実施。2人の議員が清掃工場の将来構想等について質問しました。  
(11月12日、決算額45億3532万円、古賀市分担金8億9983万円)
- ④粕屋北部消防組合議会  
(12月26日、決算額9億3413万円、古賀市分担金5億8182万円)

老人医療費無料化、1962年に乳児死亡ゼロを達成するなど「保健医療・福祉の村」として2007年9月にNHK「そのとき歴史は動いた」で紹介されました。以来、老人医療費の10割給付や総合成人病検診など独自の施策を実施してきました。

西和賀町では、議長、町立沢内病院事務長などが説明してくれました。

保健師や町長が委嘱する保

健委員45人が保健衛生思想の、自主的保健活動の推進に取り組んでいることが大きな特徴と感じました。

「人命の格差は絶対に許せません。生命健康に関する限り、国家ないし自治体は格差なく平等に全住民に対し責任をもつべきです」これは深澤晟雄村長が残した言葉ですが、今こそ大事にしなければならぬと思います。

ほかに、中部10市議会議長会で、11月15日から16日、熊本市を訪問し、北部集中豪雨の経験を踏まえた災害対策について研修してきました。

第5回議会研修会 11月7日

日本一通いたい学校に  
古賀市独自の教育施策を学ぶ

議員のテーマ別勉強会は財務、保健福祉、産業界・土地利用に次いで5回目。議員17人が参加しました。

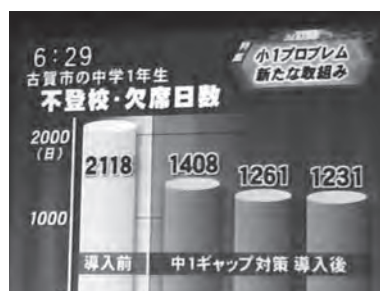
前半は、古賀中学校の校長などを歴任された影木学校教育課長が、「日本一通いたい、通わせたい学校づくりをめざす取り組み」と題して、古賀市独自の教育施策について説明があり、詳細な資料と併せて、テレビ映像でその内容を詳しく理解することができました。

後半は、荒木教育長から「古賀市の教育施策と教育問題をめぐる論議について」、市の施策実施の経緯と背景、いじめ問題と教育委員会の立場、教育委員会制度をめぐると論議について話がありました。

勉強会の冒頭、「古賀市は、他に誇れる教育行政が行われていると自負。活動

のベースにあるのは人と人とのつながり。教師と子どもとの関係がしっかりないと動かない。地域と学校と家庭との結び付きといいながら、しつけから学校で行わなければならないことがたくさんある」といった発言が印象的でした。

近年、古賀市の教育行政の視察が相次いでいます。議会としても、学校現場の実態をふまえた教育行政の全般にわたって、研修できました。これは大きな意義がありました。



TNCテレビ放映



## 市民に信頼される開かれた議会をめざして

新しい年、2013年が市民の皆さんにとって希望の持てる年となるよう、市議19人が知恵と力を合わせて頑張ります。今年もよろしくお願ひします。

昨年12月の衆院選の結果、第二次安倍内閣が発足しました。経済対策、原発、外交、憲法、教育など難問山積です。国の新たな政策を注視しながら、地方自治の確立と住民福祉の向上に引き続き全力で取り組みたいと思います。住民に最も近い地方議会の場で活動する私たちの基本的な責務です。

古賀市議会は、昨年6月からインターネットで中継・録画を配信しました。また議会基本条例の制定に向けて一昨年6月から検討を重ね、小委員会で素案をまとめました。市民の声を聴き、6月議会での制定をめざし、さらに検討します。また、地方自治法改正に伴う政務活動費条例の制定や、市議会にふさわしい会議規則の改正、議会運営の改善にも取り組みます。

市民の皆様には、議会を傍聴していただいたり、議会・議員に対するご意見などをお寄せいただくなどご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

古賀市議会



## 議会傍聴アンケートより

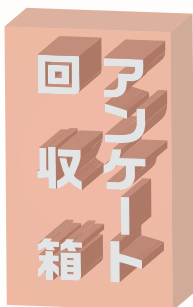
古賀市議会では、本会議の傍聴者に対してアンケートを実施しています。昨年もさまざまなご意見をいただきましたので、一部ご紹介します。

活発な意見交換で、資料もつけていただいていたので、分かりやすかったです。

インターネット中継がスタートし、ますます、市議会が広く市民に近いものとなり良いと思います。

傍聴席の肘掛けいすの肘置き部分が古くなって、はがれています。

※改善しました



職員の勉強不足を感じる。国県の施策によって、市民にどのような影響が出るのか、調査・検討すべき。どうなるか分らないでは済まされません。

傍聴席が寒かったです。

議員が早口で困る。

### ご意見・ご要望をお待ちしております。

傍聴者用の閲覧資料の設置は、アンケートの要望から実施されました。お寄せいただいたご意見・ご要望は、議会運営・市政運営に生かしていきたいと思っておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

一般質問は、もっとレベルの高い調査、研究に裏づけされたものになるよう期待します。



一緒に楽しく学びませんか  
 「うさぎ」の皆さん



手作りの筆記用具

# 市民活動紹介 ボランティア 訪問 ⑨

まちの草の根活動  
 紹介しま〜す!

## 古賀要約筆記の会 寄り添う気持ちを大切に

今回は古賀要約筆記の会「うさぎ」(代表・荒木恵子さん、会員8人)のご紹介です。

皆さんは、要約筆記をご存知でしょうか。聴覚障がい者への情報提供の方法の一つです。一般的には手話が知られていますが、聴覚障がい者でも使用しているのは約15%だそうです。特に、病気や事故による中途失聴者には、手話の習得は難しく、筆談や要約筆記などの文字による情報提供が不可欠です。要約筆記とは、話しの内容をその場で要約し、文字にして伝える通訳のことです。

「うさぎ」は設立から4年目を迎えますが、要約筆記の活動のほかに、県内の関係団体との交流、知識や技能を高めるための学習会など、精力的に活動をしています。そして今、最も力を入れているのは、要約筆記を知ってもらうための啓発活動です。小学校のゲ



ゲーム機での筆談に夢中  
 (子どもわくわくフェスタでの体験)

ストティーチャー他、古賀市の行事にも積極的に参加しています。

「要約筆記の本来の目的は、聴覚障がい者の社会参加と人権を守ることです。寄り添う気持ちがあれば誰でもできます。難しく考えないで、気軽に私たちと始めてみませんか。モットーは、確実に・ゆっくり・あきらめないです。」皆さんの活動に対する熱意が伝わってきました。

毎週金曜日、優しい「うさぎ」さんが待っています。ぜひ一度、のぞいてください。(場所・サンコスモ古賀)

## 編集後記

暦の上では、立春が過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きます。暖かい春の訪れが待ち遠しい今日このごろです。

今年初めての市議会だより第62号をお届けします。

一昨年の議会アンケートで、市議会だよりを「読んでいる」と答えた方が約70%。毎回、試行錯誤しながら編集作業に当たっている私たちには、大変励みになる数字でした。一方、内容については約30%の方が、「分かりにくい」と回答。



春よ来い(花言葉は元気)

紙面作りには、まだまだ改善努力が必要なようです。議会報編集委員6人、正確にめざして、さらに研さんと努力を重ねていきたいと思えます。

皆さまのご意見やご感想もお寄せください。本年もどうぞ、よろしくお願いたします。

前野早月

## 表紙のことは

剣道の寒中初稽古のワンショットです。少年少女剣士の見つめる先には、きっと、大きな夢が広がっているでしょう。

議員長	前野 早月
副委員長	倉掛 小竹
委員	阿部 友子
委員	田中 英輔
委員	姉川 さつき
委員	吉住 長敏

議会報編集特別委員会

第4回定例会の傍聴者は39人でした。第1回定例会は2月28日(木)開催予定です。傍聴、心よりお待ちしております。また、インターネットによる中継や録画配信も行っております。

